

事務所通信

税務調査では？（改訂版）

税務調査では、こういったところをみるのでしょうか？
一般的な税務調査でみるところを下記にあげました。

- 現金** -----
現金出納簿に記載されている現金残高と金庫等にある現金があっているか
特にお客さんから現金を受け取る事業（小売、飲食、医療、工務店）
- 売上** -----
発注メモ 納品書控え 請求書控え 領収書控え 売上の一連の書類間で計上もれがないか
期末の未収金が売上に計上されているか
期末の未収金（小売・卸 納品が完了している。医療・飲食・サービス業 役務の提供が完了している。建設 引き渡し完了している）
- 仕入** -----
仕入の納品書のなかに機械等の固定資産の購入がないか
期末の納品書のうち売上していないものが期末の棚卸表にのっているか
- 外注** -----
外注の人のなかに、実態が従業員の人が含まれていないか 従業員と認定されれば、支払額から源泉所得税を控除する必要有り
- 給与** -----
従業員名簿にのっている人が、実在する人が
個人事業の専従者給与の人の勤務実態があるか
法人の役員の給与を定款・取締役会議事録等の取決めに以上に支出していないか
- 経費** -----
一括で経費にできない10万円以上の機械等の固定資産等の購入がふくまれていないか
保険の支払のなかに、終身保険部分が含まれていないか
事業に関連しない支払が含まれていないか

きっちり帳簿をつけられてる会社にとって税務調査は、
「備えあれば憂いなし」です。

田畑浩正 税理士事務所

〒518-0711 三重県名張市東町1718